



# フロントティア精神で 広めたメロン栽培

メロン物語  
開拓編



地域おこし協力隊の細川です。暮らしを伝える「のじり聞き書き」第二回は、野尻が誇る園芸品「メロン」の物語「開拓編」です。  
野尻で最初にメロン栽培を始めた、五人の先兵、と呼ばれる、立山秋盛さん、黒木修さん、永田純一さん、榎屋安雄さん、山下誓さん（故）。  
当時の話を立山さん、黒木さん、永田さん、榎屋さんに聞きました。

## 「食ったつもね」 手探りで挑戦が始まる

昭和40年、野尻の主な作物は米と原料用のサツマイモ。デンプンの輸入自由化が始まったことで、主原料であるサツマイモの価格は低下し生活が苦しくなっていた。  
「サツマイモに代わる何かはないか」農業改良普及センターに相談する中で「野尻は朝と夜の温暖差があるから、なんか果物とか作れんかと話していて、そこでメロンはどげんじゃろ」と着目し始めた。当時は唐芋1俵（50kg）に対し、メロン1箱（4kg）が同じ値段。「じゃったらメロンやってみつか」と、野尻SAPのメンバーだった立山さん、黒木さん、永田さん、榎屋さん、山下さんの5人が立ち上がった。

5人は当時19歳〜20歳、野尻にはメロンの種もなく「食ったつもねかつ金がなかったので、竹を分けてもらってそれでハウスを手作りした。切り方からやったよ、みんなで暗くなっても作業しちよったね」。「成人式の帰りにスコップ持っせ田んぼに行ったな」、二十歳のころのほとんどの時間をメロンにかけていた。

## 青空集荷場で初収穫 「あんとときの味が忘れらんね」

昭和44年、プリンスメロンの初収穫。当時は集荷場もなく立山さんの畑に集まり「青空集荷場」で共同出荷した。「初物食は東を向いて思いっきり笑え」という土地の習わしの元、「どげからまいか、みんなで食った。あんとときの味は忘れられんね。生まれ



▲左から立山秋盛さん、黒木修さん

た」と、ゼロからの始まりだった。「知らない世界だったから突き進むことができた。誰もわからないから団結できた」、手探りで始めたメロン栽培、普及センターに通い詰めて学び、毎日遅くまで議論を重ね、「お

れて初めてこげん甘いやつ食った、うんめなって言って笑ったな。香りがよかつたなあ」と、出来栄えに胸を躍らせた。「自分たちが惚れ惚れするようなメロンを作ること」を目指して始めたメロン栽培。最初は理解されないこともあったが、「栽培日記をつけて共有したり、収穫したメロンを食べてもらおうなど続けていくと、2年目、3年目、4年目と、どんどん広がっていった」。

## 自信をもって子ども達に伝えることが何より嬉しかった

「町の歴史の本に、メロンを5人の若いグループが作ったと書いていて、子どもらに、これはお父さんたちだよ」と自信をもって伝えられることが何より嬉しかった。  
5人で始めたメロン栽培は、町内全体に広がり仲間を増やし、プリンスメロンからコサックメロンへと改良を重ね、昭和52年には野尻町のコサックメロンは1産地1品種1億円を達成し、日本一の評価を得るまでになった。

前例のないものをつくり育ててきた方々のお話を聞き、挑戦すること、情熱をもって突き進む力が大事だと実感しました！次号「成長編」へ続きます。



▲左から永田純一さん、榎屋安雄さん

## 方言大かるた大会を開催！

1月10日に、のじりこびあで『方言大カルタ取り大会』を開催しました。「年末年始に地域の方々に楽しめるイベントを」という思いで企画、ステージ広場を走り回り、拡大された方言カルタを取り合って貰いました。当日は約30名の方に参加していただき、参加者はもちろんの事、開催者側も楽しめるイベントとなりました。私は詠み手という大役を務めさせて頂き、西諸介に悪戦苦闘しながら言葉の理解を深める事ができました。また参加者としても出場し、皆様と楽しみながら広場を駆け回りました。今後も方言カルタ大会を継続させ、地元根づく企画にしていきます。



2月14日にのじりこあにて『バレンタインイベント』を行います。皆さん是非、お越しください。

今西哲也 隊員

## 小林市 地域おこし協力隊 協力隊 通信 のじり版

### 竹で作るスタードーム カフェで夢へ一歩前進

野尻町イルミネーション期間に3日間限定で、スタードームカフェを開きました。スタードームは竹と麻紐のみで作るドームで、地域の方に竹と天幕用の生地を分けていただき、手作りしました。カフェでは野尻のハーブティや日昇館さん特製の宮崎牛コロッケなどを販売、ドーム内にコタツも設置し多くの方に遊びに来ていただきました。

切畑地区の新年会に参加しました！地域の繋がりを実感しました。



細川絵美 隊員

協力隊の任期、最長3年の間に、定住へ向けて起業を目指しています。その中の一として、ゲストハウス・ブツクカフェを運営したいと思っています。今回スタードームカフェを開き、想いが強まりました。今後も、空き家物件を探しながらイベント出店など積極的に行っていききたいと思えます！



スタードーム内の様子です。日本一になったリースなどイルミネーションを楽しんでもらえました。